

平成28年度 学校評価にかかわる報告

豊浦中学校 学校評価委員会



<教育目標>

言葉と心のキャッチボール

Let's play catch with our words and hearts.



保護者・地域の皆様へ

平成28年度の豊浦中学校は、1【学力の向上】、2【言語活動の充実】、3【自治的諸活動の推進】、4【地域連携の推進】を重点目標に教育活動に取り組んできました。

この4つの重点目標について、生徒・保護者の皆様からのアンケート結果や教職員による学校評価をもとに振り返りました。今年度の成果と、見えてきた課題を報告させていただき、来年度以降の教育活動に生かしていきたいと思っております。

これまでの教育活動に対し、保護者・地域の皆様から多大なご協力をいただきましたことに感謝いたします。平成29年度もこれまで同様ご協力くださいますようお願い申し上げます。

＊ ＊ 「目指す生徒の姿」の達成状況と次年度の方向性 ＊ ＊

1 【学力の向上】について

(1) 目標：「授業に積極的に取り組んだと答える生徒」の割合が平均90%以上 → 結果：95%

2学期（12月上旬）に実施したアンケートでは、肯定的に回答した生徒の割合は、1年生で95%、2年生で100%、3年生で91%、全校で95%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：100%、2年：90%、3年：99%、全校：97%

- (1)の割合は、昨年度同様に高い値を示している。今後は、生徒の授業に積極的に取り組む姿勢や態度、努力をいかに確かな学力の定着に結びつけるかが課題である。
- 校内研修で、すべての生徒が「分かる」「できる」授業づくりを目指して、全教職員が授業改善のために「一人一実践」の授業研究に取り組んだ。授業研究では、生徒一人一人が学習活動に意欲的に取り組むために、生徒どうしの学び合いが意図的に成立するよう活動内容を工夫したり、生徒が興味・関心をもってかわり合えるように教材・教具を工夫したりしていた。
- 生徒が見通しをもって授業に取り組めるように、授業のはじめに「めあて」と「ながれ」を明示した。来年度以降もこの取組は継続する。

(2) 目標：「家庭学習1時間の目標時間を超える生徒」の割合が70%以上 → 結果：64%

4月から1月まで、家庭学習1時間を超える生徒の割合は、1年生で69%、2年生で54%、3年生で68%、全校で64%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：64%、2年：42%、3年：76%、全校：61%

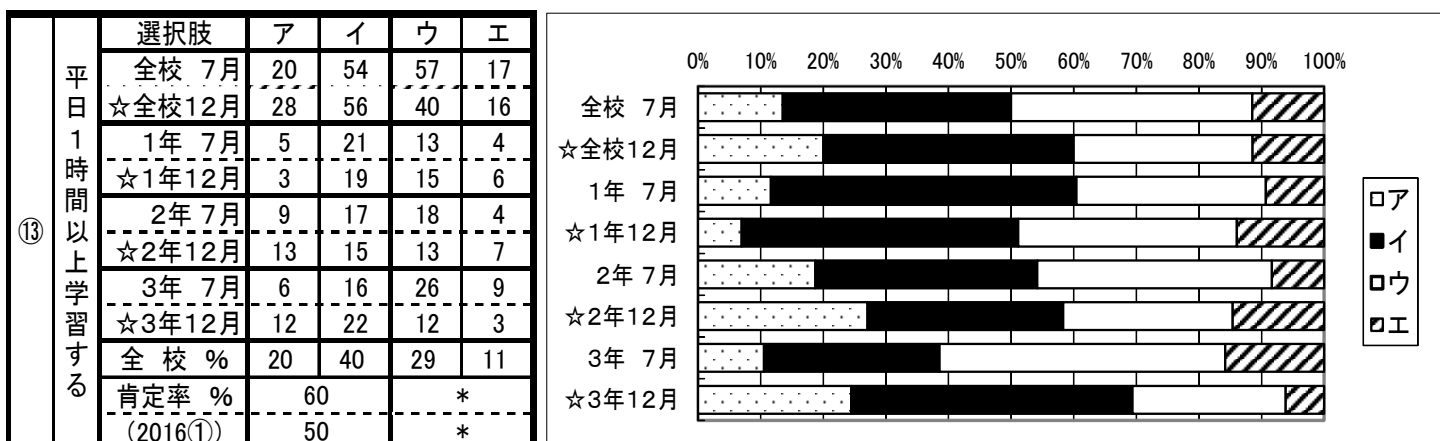
また、1人あたりの1日平均学習時間は、1年生で70分、2年生で66分、3年生で88分、全校で75分でした。

※ 参考：平成27年度、1年：70分、2年：56分、3年：88分、全校：71分

- 集計結果の64%というのは、学級担任が4月から1月末まで、毎日集計してきたデータから、生徒1日あたりの平均家庭学習時間が1時間を超えていた生徒の割合である。
- 7月、12月に実施した保護者アンケートでは、次のような集計結果になった。

⑬ お子さんは平日1時間以上の学習を行っていますか。

ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ あまり思わない エ 思わない



保護者から見た、家庭学習時間1時間を超えている（平日）生徒の割合は、7月は全校で50%、12月は全校で60%と低いものとなっている。

- 学習時間記録カードの裏面に、月の各教科の課題を明示し、その課題に取り組むことを奨励している。各学年では、それぞれの生徒がどれくらい家庭学習をしたかを教室や廊下に掲示し、目標とする1時間を達成できている生徒には称賛のシールを貼るなど、生徒のモチベーションを高めようと努めている。
- どの学年も、1人あたりの1日平均学習時間は、60分を超えていることから、勉強する生徒とそうでない生徒の2極化が進んでいることが見てとれる。家庭学習時間が30分未満の生徒やまったく勉強しない生徒の学習意欲を高めるための方策が課題である。

(3) 目標：「Web配信問題で6点以上（10点満点）とる生徒」の割合が70%以上 → 結果：79%

5月から2月まで行ってきた、Web問題で6点以上とった生徒の割合は、1年生で86%、2年生で74%、3年生で77%、全校で79%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：80%、2年：74%、3年：79%、全校：78%

- 5月から2月までの平均（9回）で考えると、どの学年も県平均を上回っている。4月と2月に実施したNRT学力検査やCRT学力テストでも、全国平均点を上回る結果を得ている。

- 年間を通して、全校体制で朝活動の時間にWeb配信テストの過去問題やサポート問題に取り組んだ。目標点に達していない生徒には、再テストや長期休業等を利用して補充学習を実施した。また、英語の授業において複数の授業者で生徒に指導するTT（チームティーチング）を行い、きめ細かく生徒に対応できる体制をとっている。次年度もこうした対応・取組を継続していく。

2【言語活動の充実】について

- (1) 目標：「時と場に応じた言葉遣いを意識して行うようにした生徒」の割合が85%以上 → 結果：97%

2学期（12月上旬）に実施したアンケートでは、肯定的に回答した生徒の割合は、1年生で98%、2年生で100%、3年生で94%、全校では97%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：98%、2年：86%、3年：100%、全校：95%

- (1)の割合は、昨年度同様に高い値を示している。特に3年生が、2年時より数値が上昇していること（86%→94%）から、言語環境がよくなっていることがうかがえる。
- ほとんどの生徒が時と場に応じた正しい言葉遣いで学校生活を送ることができていると自覚する半面、SNSなどのネットへの悪口の書き込みや悪口の伝言などの人間関係をうまく作れないことが原因で起こるトラブルがある。
- 生徒会中心に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を実施したり、道徳の授業でいじめについて深く考えたりする学習を通して、いじめを生まない言語環境をつくっていきたい。また、各教科や特別活動においては、自分の考えや思いを記述したり、発表したりする活動を積極的に取り入れ、生徒の表現力を育てる。そして、ペアや班・グループなどでの協働的な学習を意図的に設定して、協調性を育てていきたい。

- (2) 目標：「全校生徒への伝達や発表で原稿を見ないで発表する生徒」の割合が60%以上 → 結果：73%

3学期に実施したアンケートでは、発表する機会があった生徒のうち、「原稿を見ないで発表できた」と肯定する生徒の割合は、1年生で70%（33人中）、2年生で63%（37人中）、3年生で88%（35人中）、全校では73%（105人中）という結果でした。

※ 参考：平成27年度、全校：57%、平成26年度、全校：69%

- 始業式や終業式、全校朝会や生徒朝会、学年朝会など多くの発表場面で生徒は発表内容を覚えて発表するよう指導している。学級でも、「その日、気になった記事」を発表する場面を設定し、表現力の育成を図っている。

3【自治的諸活動の推進】について

- (1) 目標：「集団の一員として自覚をもって行動していると感じる生徒」の割合が85%以上 → 結果：98%

2学期（12月上旬）に実施したアンケートでは、肯定的に回答した生徒の割合は、1年生で95%、2年生で100%、3年生で97%、全校では98%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：98%、2年：93%、3年：99%、全校：97%

- 生徒会で取り組んでいる**スクールネットワーク活動**（行事等の前後で行うメッセージ交換）で、各行事等で学年を越えた生徒同士のエール交換を行う取組を継続している。文字を丁寧に書き、文章の内容にも読み手を意識した気持ちを込めたものが増えている。生徒会活動では、生徒会本部や各委員会が中心的な役割を果たし、意欲的な取組が数多く見られている。



- 部活動でも、積極的に活動に取り組む生徒が多くなってきている。そのため、各種大会でよい成績を収め、それが集団のモチベーション向上につながっている。

(2) 目標：「学校生活が充実していると感じる生徒」の割合が85%以上 → 結果：98%

2学期（12月上旬）に実施したアンケートでは、肯定的に回答した生徒の割合は、1年生で100%、2年生で98%、3年生で95%、全校では98%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：100%、2年：94%、3年：95%、全校：96%

- 全校朝会や生徒朝会を通じて、生徒に活躍の場を設定し、生徒の活動を積極的に称賛する働きかけを行っている。落ち着いた雰囲気のもと、学習や学校行事、部活動などで自分の力を発揮する生徒が増えている。また、生徒会行事や学校行事でも、生徒の実行委員会が主体となった企画や運営場面をより多く取り入れていることが生徒の達成感や充実感につながっていると考えられる。次年度もこうした取組を継続する。

4 【地域連携の推進】について

(1) 目標：「地域に貢献した活動に取り組んでいると感じる生徒」の割合が85%以上 → 結果：85%

3学期（2月中旬）に実施したアンケートでは、発表する機会があった生徒のうち、1年生で98%、2年生で85%、3年生で77%、全校では85%という結果でした。

※ 参考：平成27年度、1年：94%、2年：77%、3年：85%、全校：85%

- 1年生は、1学期に笹だんごづくり、2学期に小煮物づくりを通して、地域の食生活改善推進委員との交流活動を実施している。2月には、地域行事である「月岡温泉どんと祭り」への参画・運営に取り組んだ。地域にポスターを掲示したり、FMしばたを通じて宣伝活動を行ったりするなど、行事を大いに盛り上げることができた。
- 2年生は、3日間の職場体験活動を行い、地域の事業所の方々と交流を深めることができた。
- 3年生は、ボランティア活動として、地域のある高齢者福祉施設と保育園に訪問し、交流を行った。ボランティア活動後に行われた合唱コンクールに高齢者福祉施設利用者が参観にきてくれ、心温かな交流の機会となった。
- 今年度、市主催の真木山リレーマラソンに、陸上部と男子ソフトテニス部の3チームが参加するなど、地域交流を意識した新しい動きが見られた。
- 今後、2年生で行っている職場体験活動において、校区内で実習する生徒の割合を高めていく。多くの地域の方々から中学生のことを知ってもらうことを通して、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりを目指していきたい。